

## 令和元年度 店舗調査のまとめ

- 1 調査店舗数 ≪ 76店舗（当初78店舗、閉店 2店舗） ≫
- 【店舗内訳】 コンビニ 55店舗（当初56店舗、閉店 1店舗）  
 書店(古本屋も含む) 12店舗  
 カラオケ 4店舗（当初 5店舗、閉店 1店舗）  
 ゲームセンター 3店舗  
 家電量販店 2店舗

2 調査期間 令和元年6月3日(月)～令和元年6月14日(金)

- 3 店舗調査従事数 ≪ 53人 ≫（延べ人数）
- 【内訳】 補導員 41人  
 センター職員 12人

### 4 調査結果

#### (1) コンビニ・書店 ≪ 67店舗調査 ≫

	令和元年度	平成30年度
ア 有害図書の有無		
・有害図書 有	33店舗（49%）	48店舗
・有害図書 無	34店舗（51%）	21店舗
イ 有害図書の閲覧禁止の表示		
・表示 有	31店舗（46%）	48店舗
・表示 無	36店舗（54%）	21店舗
ウ 有害図書の区分け		
・区分け有	32店舗（48%）	43店舗
・区分け無	35店舗（52%）	26店舗

#### (2) カラオケ ≪ 4店舗調査 ≫

入場制限の表示有り 3店舗 5店舗

#### (3) ゲームセンター ≪ 3店舗調査 ≫

入場制限の表示有り 3店舗 2店舗

#### (4) 家電量販店 ≪ 2店舗調査 ≫

・有害図書 無 有害図書 無

### 5 有害図書の陳列状況について

- (1) 有害図書等を販売しないコンビニが、昨年度より急増した。現在販売している店舗からは、本部からの指示があり次第撤去する予定と回答を得た（市内の各コンビニエンスストア）。
- 調査したコンビニでは、今後は有害図書等を販売しないものと見込まれた。
- (2) 有害図書等は区別して陳列されているが、小学1年生向けのコミックの隣に陳列された有害図書等もあった（南流山地区書店）。
- (3) Z指定の、ゲームソフトを置いている。有害図書等は陳列棚の上部（1.5m以上）に陳列して、販売時は年齢確認している（南部地区書店）。
- (4) 入場制限の表示が、奥のカウンターにあって分かり難い（南部地区ゲームセンター）。
- (5) 全フロアで有害図書等を販売しているので、児童の来店は少ない様子（東部地区の書店）。

(6) 昨年あった入場制限の表示が、今回は無かった（東深井地区カラオケ店）。

## 6 店舗からの主な情報

(1) 先週の土曜日に、小学3年生位の男子児童による万引きあり、親へ連絡して対応した。また、その前日は、小学生の女子児童がトイレに入る前に、商品を鞆に入れた様子だった（南流山地区コンビニ）。

(2) イートインコーナーに高校生が長時間居座り、マナーも悪い。声を掛けても従わない（南部地区コンビニ）。

(3) 有害図書をトイレに持ち込み、棚に戻して帰る小学生位の児童がいる。3週に1度位の頻度で、土曜日に来店する（南部地区コンビニ）。

(4) 店頭で週刊誌を立ち読みする小学生に注意の声を掛けると、道路へ飛び出しかねない勢いで逃げるので、事故に遭わないかと大変心配している（南部地区の書店）。

(5) 1週間前に高校生に万引きされて、保護者と対応を話し合っている（東部地区コンビニ）

(6) 休日は、児童がゲームをして長居することが多い（東深井コンビニ）。

(7) 小学生と高校生による、死角を利用したモンスターエナジー等の万引きが多い（常盤松地区コンビニ）。

(8) 21時頃に、中学校のジャージを着た子ども達が来店する（常盤松地区コンビニ）。